

理学療法はどう生まれ、なぜ今の形になったのか

— 技術・制度・呼称のルーツから考える理学療法の現在地と未来 —

講師 渡邊 宏樹

湘南藤沢徳洲会病院リハビリテーション室長
立命館大学大学院先端総合学術研究科・呼吸療法認定士
心臓リハ指導士・心不全療養指導士・集中治療理学療法士
Knowledge Link代表



なぜ「Physical」を「理学」と訳したのか。

なぜ「Physical」を「理学」と訳したのか。

この言葉の違和感を放置したままでは、本質的な理解にはたどり着けません。江戸末期～明治維新に遡り、その背景を紐解きます。そして、この翻訳が現在の理学療法の枠組みや臨床判断にどのような影響を与えているのかを整理します。言葉の成立過程をたどることで、「理学療法とは何か」を構造的に理解するためのセミナーです。

「理学療法」の曖昧さに、終止符を打つ。

理学療法とは何か。この問いに明確に答えられる療法士は多くありません。その理由の一つは、自分たちのルーツや言葉の成立を十分に理解していないことにあります。理学療法がどのように生まれ、何を背景に現在の形になったのか。その過程をたどることで、「理学療法とは何か」を自分の言葉で説明できる状態を目指します。

例えば、なぜ開業できないのか、なぜ名称独占なのか、ほとんどの療法士は説明できません。

ほんの一例ですが例えば、理学療法士にはなぜ開業権がないのか、なぜ理学療法士は名称独占なのか。そのルーツを知らなければ、開業権を獲得する意味や、名称独占ではなく業務独占になることの意味を理解することはまず無理です。

臨床では必須、しかし法律にはない——「理学療法評価」という矛盾。

理学療法士及び作業療法士法では、理学療法士の業務内容から「理学療法評価」が意図的に削除されました。つまり法律上、「理学療法評価」は理学療法士の業務として明記されていません。この事実は、多くの療法士にほとんど知られていません。しかし臨床では、評価なくして介入は成立しません。なぜこのズレが生まれたのか。理学療法評価が、法案からあえて削除された経緯をたどり、その背景を紐解きます。

理学療法を教える立場の人々にこそ知ってもらいたい知識です。

理学療法のルーツを知らずに、未来を語ることはできません。

現在の理学療法は、これまでの歴史の中で選択され、積み重ねられてきた結果です。リハビリテーションの近代史を学ぶことは、「どこから始まり、なぜ今の形になったのか」を理解することです。その理由を知らないままでは、未来に変化を起こすことはできません。

理学療法のルーツは、過去の知識ではなく、これから変えるための羅針盤です。

これから理学療法を学ぶ人にも、すでに理学療法を生業にしている人にも、そして今、理学療法を教えている人にこそ、ぜひ知ってもらいたい知識です。

セミナー内容

対象: PT / OT / ST

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① なぜ「Physical」は「理学」と訳されたのか ② 理学療法士はどこから生まれたのか(術手という起源) ③ なぜ運動療法は「作業療法」と呼ばれていたのか(結核治療の歴史) ④ 理学療法士及び作業療法士法がどのように作られたのか。十分に議論された法律なのか? 誰が望み、誰が対立したのか ⑤ 公布以来一度も改訂されていない「理学療法士及び作業療法士法」 | <ul style="list-style-type: none"> ⑥ 実は2度の多数決で決まった「理学療法」「作業療法」という名称 ⑦ 開業権がないことの意味、そして、名称独占(理学療法士でない者が理学療法を行えること)の意味 ⑧ 「理学療法評価」があえて法律から削除された理由 ⑨ 理学療法の未来 |
|--|---|

日時

2026年9月6日(日) 9:30～11:50(予備時間12:00まで)(9:15～Zoom受付開始)
定員: 30名程度 / 受講料: 5,500円 / 最小催行人数: 10名

お申し込みは **Webサイト** で賜ります

ナレッジリンク

検索

<https://www.knowledgelinkreha.com>



ナレッジリンクHP